# 八高支スクールライフ

青森県立八戸高等支援学校 発行:令和5年7月21日 第4号

## 選択肢

5年前から農業に夢中だ。自然との触れ合いは 全身をのびのびと動かすことができ、身体も気持 ちもすっきりする。週末農業であるので、毎回雑草 との格闘からはじまるのだが、それもまた楽しい。

農業を行うには情報が必要だ。肥料の量、与えるタイミング、植え付け時期、土作り、植え付け間隔、温度管理、水の量、剪定・・・。考えることがたくさんある。私の情報源はユーチューブである。「トマトの栽培」と検索してみると「約3,580,000件」と表示される。選択肢は膨大だ。

1年目は、画面に表示された動画を上から順に見て実践した。必要な道具もそろえた。結果は不調。2年目は、体験をもとにしながら複数の動画を見比べて研究したが不調。3年目は、畑を区分けし、複数の動画のやり方を比較して実践することにしたところやや収穫量が上向いた。4年目は、近くで同じ作目を植えている人に思いきって質問し、仲良くなったところ収穫量が倍増した。動画のやり方は間違ってはいないが、条件や環境がそれぞれ違うことに気が付いた。私が選んで見た動画は限定した場面においた対処法が主だったようだ。

今や情報はすぐに手に入る。常に身に付けているスマホに触ると大量の答えが表示される。時にはしゃべってくれる。

大事なことは、どのように選択するかだ。「芸能人が言ってるから」「みんながやってるから」「誰でも持ってるから」「キラキラ輝いているから」正しいことなのだろう、という思い込みが失敗につながる。生成AIがツイッターを運営する実験を行ったところ登録数がうなぎ登りに増えたという例もある。多角的な視点をもとに、自分なりに考え判断する練習が必要だ。学習指導要領にも「情報活用能力」の大切さがうたわれている。もちろん判断するには経験も必要だ。失敗しても、諦めずに挑戦し続けたい。

今年の収穫が楽しみだ。(教務主任 三浦と)

#### 産業科1年宿泊研修(7月6、7日)

「仲間と協力する力」「身の回りのことを自分

で行う力」を育むことをねらいにテーブルマナー教室、布団敷き体験、グループホームの見学に取り組みました。



テーブルマナー教室で

は、ナプキンやカトラリーの使い方を学習しました。骨付きチキンの骨をナイフやフォークで外す体験では、真剣に取り組んでいました。

グループホームでは、利用者の方からよいとこ ろや他の利用者との付き合い方などを直接聞けた ことで、将来の選択肢のひとつとして考えたいと 思った生徒がいたようです。

商業施設では、普段見ることのできないバック

ヤードを見学し「自分が 就職したらどんな仕事を やらせてもらえるか」 「どんな資格が必要か」 など将来を意識した質問 をしていました。



生徒たちは、「宿泊研修で見たり聞いたりした ことで、将来に対するイメージが深まった」と感 想を述べていました。(増尾)

### 七夕飾り作り〔7月6日〕

普通科1年7組では、七夕飾り作りをしました。短冊作りでは、「好きな食べ物をいっぱい食べられますように」「元気に過ごせますように」「お笑い芸人になれますように」等、生徒それぞれの熱い思い



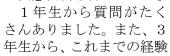
を書いていました。また、折り紙を使った場と端を 灯作りでは、端と端を 合わせて折ったり、線 に沿ってはさみで切っ たりする等、丁寧に作 っていました。



学校内が華やかになり、季節を感じるよい機会となりました。(柴田)

#### 産業科2年現場実習報告会〔7月3日〕

実習先での仕事内容に加え、良かったことや課題・改善点等、今後に向けた決意表明を行いました。





を受けた適確なアドバイスがありました。

次の実習は3ヶ月後です。先輩たちのアドバイスを参考に、今回見つけた課題を少しでも改善して臨んでほしと思います。(中村だ)

## おらせ



#### [スクールカウンセラー紹介]

今年も、玉澤さんが毎月1回来ま す。生徒だけではなく、保護者もお話 することができます。

ご希望がありましたら、学校までお 気軽にお問い合わせください。来校日 は月行事予定に掲載します。